

カナダヤマアラシの皮膚病

飼育展示担当(獣医師)高橋 広志(〇〇)

カナダヤマアラシは齧歯目(ネズミの仲間)の動物で、毛が変化した“トゲ”で全身がおおわれているのが特徴です。ところが今年生まれた子どもヤマアラシは、皮膚病のせいでトレードマークのトゲがまばらに抜けて、見るも無惨な姿になってしまいました。抜けたトゲやフケを検査してみると、どうやら真菌(カビ)が原因のようだと判りましたが、治療しようにもトゲが邪魔をして、薬を塗るのさえ簡単には行きません。結局、麻酔をかけて大人しくさせてから、全身を薬液に浸けて、トゲが刺さらないよう注意しながらシャンプーしました。なんとか洗い終えたあと、ドライヤーとピンセットを使ってトゲを数本ずつ持ち上げながら乾かし、麻酔が効いている間に軟膏を塗りました。何をやるにもトゲが邪魔になって苦労しましたが、治療の甲斐あって皮膚病はすっかりよくなり、今では元どおりフサフサ(トゲトゲ)です。



治療中



治療後

飼育日報より

5/1 ☀ ビーバー♂死亡。
5/2 ☀ ラクダ仔♀出産。
5/4 ☀ ペンガルヤマネコ仔出産。体重90.7g。
5/5 ♣ ラクダ「蘭泉」♂朝死亡。
5/8 ☀ ペンガルヤマネコ仔親による食害。
5/9 ☀ ホンドタヌキ出産個体数は不明。
5/10 ☀ ペンギン室内No.4、2つ目孵化。
5/13 ♣/↑ ホンドタヌキ仔親による食害。
5/14 ☀ シュバシコウ5個の卵が全てなくなっていた。
5/15 ☀ カラスによるものと思われる。
5/16 ☀ アビシニアコロフス♂と♀を同居させる。問題なし。
5/17 ☀ イヌワシ第2ヒナを巣に戻す。
5/18 ☀ イヌワシ第2ヒナ、病院へ収容。
5/19 ☀ カピバラ「ハタ」♀糞中に虫卵あり。回虫薬投与。
5/20 ☀ ウォキツネザル出産。
5/21 ☀ イヌワシ第2ヒナ再度巣に戻す。
5/22 ☀ ワシミスク検卵、無精卵だった為3個の卵を撤去。
5/23 ☀ カンガルー「バサージュ」♀総排泄口周辺に異変。
5/24 ☀ 治療を行う。
5/25 ☀ オオカミ「ミッドナイト」♂、「ハチ」♀同居。
5/26 ☀ オオカミ「ミッドナイト」♂、「サラ」♀、「ハチ」♀同居。問題なし。
5/27 ☀ イヌワシ第2ヒナへの給餌が確認出来ないため、パペット給餌。
5/28 ☀ ホオアカトキ巢の下にキレイに割れた卵の殻あり。
5/29 ☀ 孵化にたものと思われる。
5/30 ☀ イヌワシ第2ヒナ死亡。
5/31 ☀ カンガルー「バサージュ」♀群れに戻し同居。
6/1 ☀ ソウ放飼場に歯らしきものが落ちていた。
6/2 ☀ ハワイガン4羽食害。
6/3 ☀ ホオアカトキ朝、ヒナの声を確認する。
6/4 ☀ シマウマ♂と母子を同居。問題なし。
6/5 ☀ ウォキツネザル双子出産。
6/6 ☀ ノドジロマキザル仔出産。
6/7 ☀ ハイイロペリカン死亡。背中に外傷あり。
6/8 ☀ リス仔の姿を確認。
6/9 ☀ ホオアカトキ2羽のヒナを確認。
6/10 ☀ ニホンザル仔出産育児放棄により保護。
6/11 ☀ アシカ仔出産。体重6.3kg。
6/12 ☀ カンガルー、エミューとの同居試みる。
6/13 ☀ ワライカワセミヒナの鳴き声を確認。
6/14 ☀ ソウ花子♀口内炎あり。
6/15 ☀ F、ケージ野性動物により、ネットに穴があけられ、オシドリ8羽がF、ケージ外へ。
6/16 ☀ イグアナ♂朝死亡しているのを確認。
6/17 ☀ アシカ親子を初めて外に出す。
6/18 ☀ アシカ仔の泳ぐ姿を確認。体重7.7kg。
6/19 ☀ ショウジョウトキ卵2個、抱卵を確認。
6/20 ☀ マナヅル産卵。♂♀とも抱卵している。
6/21 ☀ ニホンザル仔出産。
6/22 ☀ F、ケージオシドリ、F、ケージ外に15羽確認。
6/23 ☀ イヌワシヒナ巣立ち。(75日目)
6/24 ☀ ペンギン、05.4.29生まれのヒナがプールで泳ぐのを確認。
6/25 ☀ ペリカン7羽を捕獲し切羽。
6/26 ☀ ホオアカトキ、ヒナはばたきの練習をしている。
6/27 ☀ ウビチ出産。
6/28 ☀ ニホンザル2仔出産。(※1母1仔)うち4頭目

7/6 ☀ の仔、親にひきずられ保護したが死亡。
7/7 ☀ ワビチ仔であることを確認。体重11.5kg。
7/8 ☀ レッサーパンダ3仔出産。
7/9 ☀ ホオアカトキ、ヒナが巣の下に落ちているのを発見。病院へ収容後死亡。
7/10 ☀ マントヒヒ交尾行動確認。
7/11 ☀ ワライカワセミヒナ巣立ち。(34日目)
7/12 ☀ マナヅル抱卵中の卵、破卵。
7/13 ☀ リスザル「No.13」(妊娠個体)死亡。開腹したが死産。
7/14 ☀/↑ リスザル全頭にトキシプラズマ病予防薬を注射。
7/15 ☀ オオカミ「ハチ」♀四肢がふらつき歩行困難。麻酔下で検査。
7/16 ☀ ワビチ♂と母子同居。
7/17 ☀ ショウジョウトキ卵落下。(無精卵)
7/18 ☀ ニホンザル2仔出産。(※1母1仔)
7/19 ☀ カンガルー「モモ」♀右前脚骨折。
7/20 ☀ ニホンザル仔出産するも、育児放棄により死亡。
7/21 ☀ ペンギン05.5生まれのヒナがプールで泳ぐのを確認。
7/22 ☀ アシカ「マヤ」♀夜間の間に脱走。♀のプール内に入っていた。
7/23 ☀ カナダヤマアラシ♀細菌感染のため入院。
7/24 ☀ コモンマーモセット♀(妊娠個体)手術。仔死産。
7/25 ☀ チンパンジー「ボンタ」♀「まんまタイム」中に天井を破損させる。
7/26 ☀/↑ ビルマニシキヘビ「小」左目突出。
7/27 ☀ シロフクロウ♀体調がよくないため触診、採血。
7/28 ☀ 投薬と強制餌する。
7/29 ☀ 写生大会：参加者604名。
7/30 ☀ ニホンザル仔出産。
7/31 ☀/☀ ニホンザル仔出産。(今年9頭目、内2頭死亡)
8/1 ☀ サマースクール1日目：参加者18組50名。
8/2 ☀ コモンマーモセット♀術後良好、群れに戻す。
8/3 ☀ サマースクール2日目：参加者17組47名。
8/4 ☀ リスザル「No.16」妊娠個体手術。仔は死産。腹膜炎を起こしていた。
8/5 ☀ 夜の動物園1日目：2,133名来園(夜Zoo来園者数)
8/6 ☀/↑ 夜の動物園2日目：1,175名来園(夜Zoo来園者数)
8/7 ☀ チョウゲンボウ予備舎にいる個体、左目大きく腫れる。消毒、軟膏で治療。
8/8 ☀/↑ ライオン馬肉入り氷を給餌。
8/9 ☀ 夜の動物園3日目：3,451名来園(夜Zoo来園者数)
8/10 ☀ 夜の動物園4日目：5,217名来園(夜Zoo来園者数)
8/11 ☀ ニホンザル展示場内の擬岩が破損。
8/12 ☀ コモンマーモセット♀術後の抜糸。
8/13 ☀ タンチョウ右翼から出血。羽軸が折れていた。
8/14 ☀ トナカイ♀1給餌時に脱走捕獲収容する。
8/15 ☀ ウォキツネザル仔の入れ墨を行う。
8/16 ☀ アシカ「マヤ」♀タココンクリート壁に登り脱走できる状態になっていた。
8/17 ☀ リスザル「No.16」♀入院個体を群れに戻す。
8/18 ☀ クマタカ♂、♀を展示場にて同居。
8/19 ☀ ソウ9：20完全交尾確認。
8/20 ☀ チョウゲンボウ♀3、♀1搬出。
8/21 ☀ シュバシコウ台風風に備え納倉。
8/22 ☀ クジャク台風風に備え納倉。
8/23 ☀ アシカ「ナナミ」♀体重14.5kg。
8/24 ☀ ツキノワグマ♂と母子の同居。♀が♂に攻撃を繰り返すため途中で中止。
8/25 ☀